

村松地区 村政懇談会

日 時：平成 26 年 6 月 20 日（金） 午後 7 時から 9 時まで
場 所：村松コミュニティセンター 多目的ホール
出席者：村執行部（村長，副村長，教育長，総務部長，村民生活部長，福祉部長，
建設農政部長，教育次長） 計 8 名
事務局（課長，課長補佐，副参事，自治推進課職員 3 名） 計 6 名
自治会長（照沼区，宿区，川根区，原子力機構箕輪区） 計 4 名
自治会連合会（会長，理事，事務局長，事務局職員 2 名） 計 5 名
参加者：宿区 12 名，照沼区 9 名，川根区 5 名，その他 34 名 計 60 名
報道関係：読売新聞社 総計 84 名
司会進行：宿区自治会長

《次第》

開会の言葉

1. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
2. 地区自治会長あいさつ
3. 村長あいさつ並びに村政に関する説明
4. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答
5. 自由質問

《記録》

【3. 村長あいさつ並びに村政に関する説明後の質疑】

原子力機構箕輪区住民：青少年育成東海村民会議照沼支部長をやっている。村長の説明の中で「地域の担い手となる人づくり」という話があったが、それは私も同感である。その中で現在，地区自治会，地区社協，村民会議支部の統合の話が出ているが，なぜ統合するのか。

村長：私の考えはあるが，問題提起したのは，一つに統合した方がいいパターンとそのまま残して組織の繋ぎ役として別の組織を作る方がいいパターンなど地区毎に考え方は違うと思う。ただ，それぞれの団体が疲弊しているように見えるので地域に出て問題提起した。話し合っただけで決めていただきたいと考えている。

【4. 地区自治会からの事前質問・要望に関する回答後の質疑】

質疑なし。

【5. 自由質問】

照沼区住民：原発について。安全審査を規制庁で実施しているが，村に事前協議があったのではないかと思う。新聞では，不備や懸念があるとなっているが，事前協議の

村松地区 村政懇談会

際に村としては、どう対応したのか。また、今日の新聞で原発が地区自治会単位で説明開催するとなっていたが、単位自治会で実施していただきたい。

村民生活部長：1点目について。村では事前説明を受けて、どういった安全対策かを一つ一つ確認した。例えば地震動の考え方や火山の影響範囲等について。中身は十分把握した上である。2点目については、まず原電に近い場所である白方区から順次単位自治会毎にやっていくことになる。

照沼区住民：説明会での村のかかわり方はどうなのか。

村民生活部長：村でも同席するが、原電主体で開催する。

照沼区住民：五反田線の国道245号線までの延伸工事は行わない方向で決定なのか。

また、国体に向けて、駐車場の確保が必要になると思う。阿漕ヶ浦ホッケーグラウンドの整備もあると思うが、阿漕の再開等、その辺はどうなのか。

建設農政部長：五反田線の延伸工事は行わない。土地改良区内なので遊歩道の整備等、どのように利用していくかは、地域と協議して決めていく。国体については、駐車場の確保は必要と考えている。阿漕ヶ浦公園の整備については245号の拡幅と併せて検討していく。遊歩道については幅員が17メートルで長さが約468メートルであり、地域の方と一緒に検討していく。

村長：車が走る道を作る気はないが、周遊できるように作る。自然を壊さないようにしたい。地権者に説明しながら地域の方と進めていく。

照沼区住民：火力発電について。税収が増えた反面、大気環境はどうなっているのか。調査したのか教えていただきたい。

村民生活部長：環境アセスメントについては現在手元にデータを持っていないが、年に2回村内全域の環境の調査を実施している。住民の皆さんへの影響はない。

照沼区住民：宮前橋付近に村の保留地がある。どう開発するのか。放置なのか。

村長：J-PARCの進入道路を作る話はあったが、J-PARCの事故があったので今はとまっている状況だ。駐車場として使えればよいと思うが、検討していく。

川根区住民：新川について。汚れているので台風が来る前に川底等清掃をお願いしたい。

建設農政部長：真崎浦土地改良区の管理だと思うので協議していく。

照沼区住民：道路の補修等をお願いするのは単位自治会で要望しているが、要望は地区自治会から自治会連合会へ吸い上げて協議していくと聞いた。そうなると地域住民の声が届きにくい。

建設農政部長：地区自治会から連合会へ上げて協議していくのは、策定されたみちづくり基本計画のことである。これからは優先順位を決めて対応していきたいと考えている。まだ機能していないが、説明会を実施しながら周知していく。

照沼区住民：地域住民の声が無視されているように感じる。説明会をやるなら地区の役員のみにはしないで欲しい。また、道路舗装などもそのような形で行うのか。

村民生活部長：新しい道についてはみちづくり基本計画。一般補修は単位自治会を通

村松地区 村政懇談会

じこれまでどおり自治会要望として出していただきたい。

宿区住民：細浦の中央排水路について。雨が降るとすぐ冠水し、歩行も困難になる。村ではどう考えているのか。過去に要望として出したことがある。

建設農政部長：浸水しないように排水する作業が必要になる。今は雨が降ると、通行止めになっている。改修したいが難しい。今のところ改修計画はない。

連合会理事：産業道路とつなぐ等、改善策があるのではないか。(提案)

照沼区住民：東海村には歴史博物館がない。他の市町村にはあるところが多い。

東海村を知らない人が多いので、ぜひ作ったほうが教育のためにもいいと思う。

村長：必要だと思う。東日本大震災により白紙になったが、生涯学習センターの中に設置する構想があった。現在庁内で再検討している。近々パブリックコメントを行う予定である。

教育長：私も必要だと考えている。人が集まれるような交流センターを作りたいと思っている。子どもたちがそこに行くと、いろんな活動ができ、歴史を学ぶこともできる場。また、バーベキューの活動等もできるとよいと考えている。

照沼区住民：今、幼保施設を作っていると思う。大神宮の参拝客の避難所になると過去の村政懇談会で話があったが、その際、塔を作るという話があった気がする。それはどうなったのか。また、デマンドタクシーの話を前回の村政懇談会でしたが、進捗はどうなったのか。運行時間の延長や広域化について。目に見えるような進捗回答が欲しい。

福祉部長：塔は作っていないが、幼保施設の2階に屋上を作り、退避できる場所としている。150名が収容でき、高さは約8メートルである。

副村長：デマンドタクシーについては、今年度、公共交通機関のアンケート調査を予定している。その結果を踏まえて方向性を示していく。

村長：幼保施設の2階は避難所ではなく、一時退避場所としている。デマンドについては、公共交通としてバスの運行を試行的にやるなど検討していく。

宿区住民：宿区新川脇の遊歩道について。緑地帯の老朽化が進んでいる。東海村の土地ではないが、何かしら対応できないか。松に元気がない。また、さわやかトイレ前の信号機の時間が長く、感知機の反応も悪いので改善して欲しい。これは地域みんなの意見である。

建設農政部長：遊歩道は現地確認してから県の担当課と調整していきたい。信号機についても現地確認した上で、ひたちなか西警察署と調整していく。

村民生活部長：信号機の待ち時間については話を伺っていたので、ひたちなか西警察署に話はしている。再度話をして対応していきたい。

照沼区住民：私は水田を持っており、今は人に作ってもらっている。仕事があるので自分で作れない状況だが、高齢化によりそのうち返されると思う。後継者はなかなか見つからない。役場の担当課に相談したが、個人対応だと言われた。農業委員会から

村松地区 村政懇談会

も後継者がいないと言われた。自分でも探しているが見つからない。土地の買い手もない。どうやって維持していくか。そのような人は多いと思うが、役場で対応策はないか。

建設農政部長：全国的に大きな問題である。農地中間管理機構があり、県で取りまとめをしているが、市町村への委託業務として降りてくると思う。現段階では決まっていない。年度内には明確化されると思うのでその時期に回答ができると思う。

照沼区住民：県ではなく、村としてどう考えていくのか。

村長：村で農業公社を作るのは、多額な税金がかかるので、住民に理解をもらう必要がある。担当課には特命事項として検討するようには言っている。できるかはわからないがやりたいと考えている。

照沼区住民：住所について。大字村松は広範囲なので村松宿として、真崎は真崎、押延は押延としてほしい。

村民生活部長：去年の村政懇談会でも話がでていた。結論として、住居表示は市街化区域が対象であり、調整区域は対象外となっているため、現時点では制度上難しい。

以上